

第 2 1 回兵庫県子ども・子育て会議

日時：令和元年 6 月 7 日 13 時 30 分～

場所：ラッセホール 地下 1 階リリー

○委員

年間出生数 4 万 4, 000 人という数値目標を達成するために I から VI までの施策を行うという認識でよいか。これだけ個々の施策の数値目標を達成しているにもかかわらず出生数が減少し続けるということは、数値目標の設定の仕方を見直すべきでは。

○委員

兵庫県だけでなく、我が国の少子化の状況は、世界的・歴史的に見ても類がなく、前例や抜本的対策もない。そのような危機的状态の中、県が様々な施策を講じることで何とか出生数 4 万人を維持できているのではないか。

県内には女子大を含め大学がたくさんあるにも関わらず、県外へ転出する 20 代女性が多い。その理由は就職先の問題と聞いているが、県ではどのように分析しているか。

○委員

どういう職種であっても女性が輝くような職場があれば、県外転出は防げるのではないか。県内の女子学生に対し、中小企業でも製造業でも、もう少し仕事と家庭を両立しやすいイメージをアピールしてはどうか。

○委員

以前、若者の定着に関する検討会で調査したところ、4 年制大学を卒業した人の転出が非常に多いという結果が出た。その原因として、首都圏や大阪の企業と比較し

て、県内企業における職場提供の不十分さが考えられる。そこで、既存の企業には新しい人材を活用してもらうとともに、県外から新たな事業所を誘致するための施策が重要。

○委員

20代の転出を防ぐことは、その後の家庭につながるという意味で兵庫県にとっては重要。

○委員

次期計画を立てる際には、あるべき兵庫県の長期ビジョンの人口を根拠として出生数の数値目標を掲げる、というアプローチも検討してもらいたい。

○委員

個々の施策の数値目標の達成と県民の満足度の達成には乖離があり、これを埋めていかなければ出生数等の数値目標を達成することは難しいのではないか。そういう意味で、達成されている施策の特徴的な中身等をお聞かせいただきたい。

○委員

数値も目安として大切だが、行政が保護者と行政サービス等とをつなぐ役割を果たせていないのが現状。行政も地域の特徴や現場を把握して、的を射た対応をしていただければありがたい。子育て支援の施設はもう十分あって機能もしているが、ただそこにお母さんがつながっていないだけ、という可能性も含めて施策を見直していただきたい。

○委員

若者が結婚後に兵庫県の親元近くで暮らすことを希望しても、神戸市等の都市部では地価が高いため、大阪へ転出してしまうことも多い。都市部に限らず、兵庫県全域における充実した子育て施策の推進を大学の女子学生にもPRする機会が必要。

○委員

子育て中の母親にとって、身近な人の協力や支えが一番ありがたい力となると思う。もう少し父親など身近な人の応援や温かい言葉があれば、母親たちはイライラせずに子育てを頑張れるように思う。

○委員

兵庫県の場合、高校を卒業して就職する人は、ほとんどが地元で就職し、一部大阪で就職をしている。大阪と兵庫は通勤可能な同一経済圏という意識の下、夜間人口を確保する観点から、大阪で働いていても兵庫県に住み続けることができるよう住環境の整備が必要。

○委員

学童保育連絡協議会等の活動を通して、私たち親の意見も兵庫県の施策に反映させるべきと考え、今回公募委員に応募した。兵庫県の出生率低下の原因を考え、人口減少を抑制できるような施策を皆さんと一緒に考えていきたい。

○委員

世の中の仕組みが、女性が家事や子育てするという前提で成り立っていると感ずることが多く、男性が家事をすることがそもそも理解されていない。このような男女の役割の固定化が少子化対策の妨げになっているのでは。また、第2子の問題、晩婚化

による影響についても個人的な経験も踏まえて伝えていきたい。

○委員

3人の子供がいるとすごく大変というイメージが世の中にはあるが、そのイメージと現実とのギャップを払拭することが大切。

また、公教育で満足できる環境を整えば、兵庫県も子育ての場として、すごくいい場になるのではないかな。

○委員

無償化に伴う懸案事項として、まず保育士の人材難がある。これを解決するためには、施設の実習担当者の専門性を高め実習生がやりがいを持ち続けられる実習を行うことによりなり手を増やすこと、キャリア形成を促進することにより個々の勤務年数を長くすることが必要。また、無償化に伴い保育定員を拡大するだけでなく、保育の質や愛着形成の面についても対応をお願いしたい。

○委員

未来プラン改定スケジュールの中に、例えば高校生や大学生の意見を聞くヒアリングの場を設けて、大学生の就職の問題や離県の問題などを聞く機会として欲しい。